

大 洗 議会だより

目 次

新年のごあいさつ 2

10月議会臨時会
12月議会定例会 3

町政を問う 3人登壇 4

要望書を提出 9



No.202
2023.1.25

笑顔溢れる未来っ子
「みんなでおもちつきしたよ!!」(第一保育所)

新年のごあいさつ



議長
飯田 英樹

新年あけましておめでとうございませう。

町民の皆様には、令和5年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃より大洗町議会に対しまして、格別なるご支援、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、3年ぶりに行動制限のない年末年始となりまして、皆様にとっては、家族や親戚、友人とともに過ごされ、改めて平穏な日常生活の時間の尊さを感じられたことではないでしょうか。

しかし、一方で、新型コロナウイルスの感染状況は、依然として予断を許さない状況に変わりはなく、加えて、ロシアによるウクライナ侵攻により世界的な危機が懸念されるとともに、

資源価格の高騰、記録的な不安に相まって、私たちの日常生活や地域経済にも多大な影響を受けております。

このような先行き不透明な状況の中、私たち議員が果たすべき責務は、町民の皆様が安心して日々の生活が送れるよう、町民の皆様の声に耳を傾け、多種多様な意見を適切に町政に反映していくことであると、改めて強く感じております。

大洗町議会といたしましては、今後とも、町民の皆様の生活を取り巻く諸問題に真摯に向き合い、議員一人ひとりが研鑽に努めながら、しっかりと議論を重ねていき、より暮らしやすいまちづくり、魅力ある大洗を目指し邁進してまいります。

本年もなお一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

大洗町議会

飯田 英樹

柴田 佑美子

櫻井 重明

伊藤 豊

石山 淳

小沼 正男

今村 和章

和田 淳也

海老沢 功泰

勝村 勝一

坂本 純治

菊地 昇悦

(議席順)

公職選挙法の規定により議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されているため、本誌をもって年頭のご挨拶とさせていただきます。

10月議会臨時会

10月議会臨時会は、10月28日に開催し、議案については下記のとおり可決しました。

審議した議案と各議員の賛否

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名											
		賛成	反対	飯田 英樹	柴田佑美子	櫻井 重明	伊藤 豊	石山 淳	小沼 正男	今村 和章	和田 淳也	海老沢功泰	勝村 勝一	坂本 純治	菊地 昇悦
議案第61号	令和4年度大洗町一般会計補正予算(第4号)の専決処分につき承認を求めることについて	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	令和4年度大洗町一般会計補正予算(第5号)	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は欠席 ※議長は賛否同数時のみ加わります。

議会映像→



12月議会定例会

12月議会定例会は、12月13日から14日の2日間の会期で開催し、議案については下記のとおり可決しました。

審議した議案と各議員の賛否

議案番号	議案名	賛否数		議 員 名											
		賛成	反対	飯田 英樹	柴田佑美子	櫻井 重明	伊藤 豊	石山 淳	小沼 正男	今村 和章	和田 淳也	海老沢功泰	勝村 勝一	坂本 純治	菊地 昇悦
議案第63号	大洗町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第64号	大洗町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第65号	大洗町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第66号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第67号	大洗町手数料徴収条例の一部を改正する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第68号	公共下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整理に関する条例	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第69号	和解に関し議決を求めることについて	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第70号	調停の成立に関し議決を求めることについて	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第71号	指定金融機関について	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第72号	令和4年度大洗町一般会計補正予算(第6号)	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第73号	令和4年度大洗町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第74号	令和4年度大洗町介護保険特別会計補正予算(第2号)	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第75号	令和4年度大洗町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第76号	令和4年度大洗町水道事業会計補正予算(第3号)	10	0	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は欠席 ※議長は賛否同数時のみ加わります。

本会議のようすをインターネットで録画配信を行っています。



寄附目的

50万6千円
町の振興発展の一助として

支社長 中平 泰弘

寄附者

水戸市南町
明治安田生命保険相互会社

寄附目的

100万円
町の振興発展の一助として

猿田 俊子

寄附者

大洗町磯浜町

寄附報告

寄附目的

第2期海の街大洗創生推進プロジェクトの一助として

寄附金

50万円

代表取締役 五十嵐 則夫

寄附者

日立市幸町

イガラシ綜業株式会社

企業版ふるさと納税に係る寄附

3人の議員が登壇して発言

妊婦・子育て家庭への
伴走型相談支援体制を
出産・子育て応援交付金の活用

しばた ゆみこ
柴田佑美子
5 ページ

北海道・三陸沖後発地震の懸念
本県9市町村を含む北海道から千葉県までの
7道県182市町村が対象となっている

かつむら かついち
勝村 勝一
6 ページ

消費税の変更に向けて
インボイス 町の対応

きくち しょうえつ
菊地 昇悦
7 ページ

町政を問う

ズバリ!



「町政を問う」紙面は、質問した議員が作成しています。

妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援体制を …出産・子育て応援交付金の活用



しばた ゆみこ 議員
柴田 佑美子

議会映像➡



はじめに

令和4年12月2日、令和4年度第2次補正予算が可決成立した。公明党の訴えで総合経済対策に盛り込まれた10万円相当となる「出産・子育て応援交付金」について伺う。

問

この交付金の趣旨は。

こども課長

「出産・子育て応援交付金」は、市区町村が全ての妊産婦に寄り添った相談体制を構築する伴走型相談支援と、妊娠届出の際に妊婦1人当たり5万円、出生届の際に新生児1人当たり5万円をそれぞれ支給する経済的支援の二つの柱から成るもので、これらを一体的に実施することで、安心して出産・子育てができるよう、一貫した支援体制を構築していくことを目的とするものです。

問

新たな事業の実施による効果は。

こども課長

町では妊娠期から子育て期までの支援の重要性に着目し、個別の面談や電話相談などの機会を確保できるよう努めています。そのため今回の伴走型相談支援につきましては、町としての相談体制が概ね構築できているものと考えていますが、新たに国から示される内容を、これまでに町で実施している支援と組み合わせることで、より切れ目のない支援に繋げていくよう調整していきたいと考えています。

経済的支援についても、面談やアンケートと組み合わせることで、これまでに実施されてきた交付金とは異なり、継続的な支援に繋げることが期待されます。

問

本町にとって出生数の減少は喫緊の課題です。今後の若年世代への経済的支援についての考えは。

町長

未来の大洗を担う子どもたちを支援するのは、とても大切なこと、やらなければならないことです。これまでに実施してきた子育て支援策の中には、他に先駆けて展開してきた事業もありますが、新たに「出産・子育て応援交付金」として国が求める支援内容についても、大洗町で子育てをすることが励みとなるような展開に繋げるため、しっかりと対応していきます。

答



相談風景の写真

④その他の質問

・女性の健康促進とがん予防

北海道・三陸沖後発地震の懸念

…本県9市町村を含む北海道から千葉県までの7道県182市町村が対象となっている



かつむら かついち 議員
勝村 勝一



議会映像➔

はじめに

新聞記事において、北海道・三陸沖後発地震の注意情報について本年12月16日から運用を開始するとの報道がありました。東日本大震災の時に、2日前にM7.3の地震が発生している。

問

北海道・三陸沖後発地震注意情報とは。

生活環境課長

答

日本海溝・千島海溝付近の想定する震源域において、M7.0以上の地震が発生した場合に、内閣府と気象庁において、合同で記者会見をひらき、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発信されることとなり、後発地震が必ず発生するとは限りませんが、注意が必要ということとなります。

そして、地震発生後1週間が経過した際には、防災担当大臣などから、特に注意する期間が終わった旨の呼びかけが行われますが、平時からの備えを徹底するように促していくこととなっています。

問

内閣府と気象庁において、後発地震注意情報が発信された場合、住民に対しての注意喚起はどのような対応をとるのか。

生活環境課長

答

先に起きた地震(以下「先発地震」という。)の状況によって対応は変わります。

先発地震において被害が大きいケース

東日本大震災の時のように大津波警報などが発令され、住民がすでに避難していることが想定されます。そのような中、後発地震注意情報が発信された場合は、避難している方については、避難を継続してもらうなどの対策をとってもらう場合もありますので、防災無線や個別受信機などで、避難の継続を呼びかけていくことになるかと思えます。

先発地震において被害が小さいケース

地震の震度がそれほど大きくはないが、津波注意報などが発表された場合が想定されますが、このような時に、後発地震注意情報が発信された場合、沿岸地域の方が自主的に避難することも想定されますので、避難所を開けておくなどの対策をとる必要があるかと思えます。

先発地震において被害がないケース

先発地震の震源が離れており、体感する地震がなく、津波に対する情報も発表されない場合が想定されますが、後発地震注意情報が発信されたときには、大きな地震や津波の発生の可能性が高まっていることを住民に伝え、速

やかに避難できるよう促していくことが必要と考えています。また、避難に支援が必要な方の避難手順につきましても再確認が必要があるかと思えます。

いくつか対応の例を挙げさせていたいただきましたが、状況に応じて対応できるような準備しておく必要があるかと思えます。

問

日頃からの災害に対する備えが必要と思いますが、そのためには日頃の備えと避難訓練を行う必要があるかと思えますが、考えはあるのか。

生活環境課長

答

避難訓練につきましましては、令和4年3月に職員を対象にコロナ禍に対応した避難所開設訓練を行いました。災害時の対応マニュアルについても、一部改訂を行いまして、全職員がいつでも確認できるよう、共有しています。今後の訓練につきましては、令和5年3月に訓練を行う予定で準備をしています。

その他の質問

・学習端末重い修理費負担増の懸念

消費税の変更に向けて …インボイス 町の対応



きくち しょうえつ 議員
菊地 昇悦

議会映像➡



はじめに

消費税の申告・納税が免

除されている事業者も課税

対象になるインボイス制度が令和5年10月から開始されるが、延期や中止を求める声が拡がっている。

私もその声に同感し、町ではどう対応していくのか、インボイスの影響として考えられる二点の問題を提起する。

問

現在、文部科学省は、地元産の有機食材を活用した学校給食で、食育の取組みを推進している。納入者にインボイス登録を求めると課税が発生することから、食育を支えることに問題は生じないのか。

税務課長

答

学校給食の会計処理では、食材を仕入れている学校側はインボイスを必要としない状況です。で、食材の生産者である納入者がインボイス登録をしないことにより問題が生じることはないと考えます。

問

もう一点は、シルバー人材センターに関することである。センターで働く会員は、個人事業主になる。インボイス事業者の登録をすれば消費税納税の義務が生じ、登録しなければセンターに多額の消費税負担が生じる。

会員は生きがいをもって仕事を受け、また、町民は安心して依頼することができ、町の大切な組織となっている。センターを維持するには運営補助金を増やすなどの対応も必要と考えるが、町の対応を伺う。

町長

答

シルバー人材センターのインボイス制度にかかる消費税負担増の懸念については、インボイス制度から除外するというよりは、依頼者とセンター・会員との契約の方式を変えることによりセンターの消費税負担増を回避することが政府・与党で検討されています。

もしも回避できなかったときは、センターには重要な活動を担っていただいておりますので、町として補助制度を考えるのは当然の責務だと思っております。そこは議員の皆さんとご相談しながら、しっかり対応していきたいと思えます。

＜その他の質問＞

・住民に配慮した環境づくり

行政視察の 受入れ状況

全国各地より大洗町へ
お越しいただいています。



①鳥取県 三朝町議会 産業民生常任委員会 (6人)

人 口：6,067人 (令和4年11月末現在)

面 積：233.52km²

訪 問 日：令和4年10月4日 (火)

視察の目的：海を活かした観光振興

対 応 議 員：飯田議長、柴田副議長、
伊藤総務常任委員会委員長

※三朝町とは、平成23年に防災応援協定を締結
しています。



②大分県 豊後大野市議会 議会広報編集特別委員会 (6人)

人 口：33,494人 (令和4年11月末現在)

面 積：603.14km²

訪 問 日：令和4年10月25日 (火)

視察の目的：議会広報紙の編集・発行について

対 応 者：議会広報編集委員会
(櫻井委員長、石山副委員長、
柴田委員、今村委員)



③栃木県 那須烏山市議会 経済建設常任委員会 (5人)

人 口：24,650人 (令和4年12月1日現在)

面 積：174.35km²

訪 問 日：令和4年11月16日 (水)

視察の目的：防災集団移転促進事業について

対 応 者：飯田議長



額賀福志郎議員に対し、町と連名で要望書を提出

令和4年10月31日、本県出身の国会議員で自由民主党総合エネルギー戦略調査会の会長を務める額賀福志郎議員へ原子力研究開発の推進等に関する右記の要望書を町と連名で提出しました。



当日参加者

國井町長、飯田議長、柴田副議長、勝村議員、海老沢議員、和田議員、伊藤議員、櫻井議員

要 望 書

本町は、日本原子力研究所の立地が昭和38年に決定されて以来、半世紀以上にわたり原子力関連施設の立地自治体として、国策で進める原子力研究開発を推進してまいりましたが、福島第一原子力発電所事故以降、国としての原子力研究開発が停滞するなど、大変憂慮すべき状況が続きました。

そのような中、先般、次世代革新炉の開発・研究や既存施設の活用など、国としての原子力政策における一定の方向性が示されたことは、今後、原子力研究開発を推進していくためにも大変意義深く、原子力関係者にとって希望の光であります。

原子力は、2050年カーボンニュートラル実現に向けての確立した脱炭素技術であるとともに、安全性の確保を大前提に、長期的なエネルギー需要構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源であり、また、昨今の異常気象等によるエネルギー需要量の増加や、各種発電施設の老朽化に伴うエネルギー供給量の不足、さらには、石油価格等の上昇に伴う電気料金の高騰により、ますますその必要性が高まっております。

このようなことから、今後の原子力研究開発においては、適切な研究開発施設の設置や廃炉措置を着実かつ計画的に進める必要があります。そのためにも、研究開発に関する十分な予算確保やバランスのとれた予算配分が重要です。さらには、引き続き国内における原子力の基礎基盤を高い水準で維持していくためにも、人材育成・確保を図っていくことも極めて重要であると認識しております。

また、今日までの原子力研究開発は、地元町民の深い理解と協力により推進が図られてきたものであり、今後、更なる理解や信頼関係を構築するためにも、新たな地域振興策を図ることが必要であると考えております。

つきましては、今後とも我が国の原子力研究開発を力強く推進していくため、以下の要望について特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

記

1. 材料試験炉（JMTR）は、我が国の原子力研究開発を進める上で、必要不可欠な照射炉であることから、その後継炉の建設について、国として速やかに方針を決定し、本町での設置に向けて着実に進めること。

また、新たな安全メカニズムを組み込んだ次世代革新炉の開発・建設について、国での検討結果を受けての立地選定の際には、本町での誘致に向けて特段の配慮を願いたい。

2. 高速実験炉「常陽」は、次世代革新炉の開発に必要な研究炉であることから、運転再開に向けた安全確保のために行っている新規基準対応について必要な予算措置を行うとともに、海外からの輸入に依存しているがん治療に有効な医療用 RI 製造の実現に向けた設備の設置等のための予算措置を積極的に進めることに支援願いたい。

3. 高温工学試験研究炉（HTTR）は、安全の確保を最優先に、国の施策である脱炭素社会実現に向けた研究開発を着実に進めるために必要な予算確保について支援願いたい。

4. 本町は、半世紀以上にわたり我が国の原子力政策を理解し、研究開発施設の立地に協力してきた地元自治体であるため、高経年化・廃止措置等に関する予算措置のみならず、原子力事業者が原子力に関する本来の研究開発を着実に推進するための必要かつ十分な予算措置を行うことについて支援願いたい。

5. 地域経済の活性化や町内業者の育成を図るため、原子力事業者による町内業者への受注機会の確保に努めることについて支援願いたい。

令和4年10月31日

大 洗 町 長 國 井 豊
大洗町議会議員 飯 田 英樹

議会政治倫理審査会の調査報告について

令和4年7月13日に大洗町民25名より、飯田 英樹 議員が大洗町議会政治倫理条例に違反しているとの内容の調査請求がありました。

これを受け、本町議会では「大洗町議会政治倫理審査会」を設置し、調査事項について調査を行い、10月11日付けで調査結果報告書が提出されました。

○調査対象者:飯田 英樹 議員

○調査請求事項:

- ①大洗町商工会副会長に就任していることは、原則として町から補助金の交付を受ける団体の代表等に就任しないとする政治倫理基準に違反している
- ②同町議会議員への恫喝

○結果報告:

- ①について 飯田 英樹 議員の商工会副会長就任の件について、倫理条例第4条第1項(5)の規定には抵触しない
- ②について 飯田 英樹 議員から議員への恫喝の件について、審査、調査をしたが、当審査会において答えを出すべき内容ではない

*なお、詳細な調査の過程や結果につきましては、大洗町議会HPに掲載しております。



令和5年 第1回議会定例会のお知らせ

令和5年3月1日(水)開会を予定しております。

◆会期日程・審議内容等、詳細につきましては、週報、ホームページ等にて改めてご案内いたします。

議会日誌

10月	4日	鳥取県三朝町議会視察来町
	24日	議会全員協議会
	25日	議会広報編集委員会 大分県豊後大野市議会視察来町
	28日	第2回議会臨時会
	31日	国へ要望書を提出
11月	16日	栃木県那須烏山議会視察来町
	29日	議会運営委員会
	30日	議会広報編集委員会 議会全員協議会 原子力安全調査特別委員会
12月	13日～14日	第4回議会定例会
	14日	議会運営委員会
1月	11日	議会広報編集委員会

おおあらいまち

ここどこ??クイズ

問題

平安時代後期の武将、八幡太郎義家(源義家)が軍を率いて通過したと言い伝えられている「真端の橋」はどこにあったでしょうか?

①から③の中から選んでね。

① 防災ふれあい公園

② 桜道公園

③ 堀割児童公園

応募方法

1 はがき又はEメール

2 答えと住所、氏名、年齢、電話番号、

本紙へのご意見や

ご感想等ありましたら、あわせてお寄せください。

宛先

● はがきの場合

〒311-1392

大洗町磯浜町6881-275

大洗町議会 議会だより広報委員会

● Eメールの場合

件名を「クイズクイズ 2022号」にして
gikai@town.oarai.lg.jp まで送信してください。

☆締め切り

2月24日(当日消印まで有効)

正解者の中から抽選で10人の方に1,000円分の図書カードを差し上げます。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

NO.201の答え

② おおじ山



編集後記

朝焼けの美しい空に神々しい日の出とともに新しい年が幕を明けました。

本年の干支は癸卯(みずのとう)のウサギ年。飛躍する、物事が向上する年と言われています。

パワースポットの名高い、創建斉衡3年(856年)由緒ある大洗磯前神社の正月三が日の参拝客数は37万人(神社発表)。

今年こそは、コロナ禍に振り回されない世の中であって欲しいですね。さて、町は伝統ある消防出初式、二十歳の集いで新年のスタートを致しました。

成人を迎えられました皆様には、改めて祝意を表し、志や夢の実現に向けて激励のエールを送ります。

そして、本年も広報委員4人のメンバーで議会だよりを届けて参ります。

結びに、町民の皆様にとりまして、令和5年が平穏無事な良き1年となりますことを心より御祈念申し上げます。

石山 淳

議会広報編集委員会

委員長 櫻井 重明

副委員長 石山 淳

委員 柴田佑美子

委員 今村 和章

大洗町議会ホームページ

議会の会期日程等のお知らせや議会活動のほか、議会のしくみなどについて掲載していますので、ぜひご覧ください。

大洗町議会

検索